



丹野さんから 学んだこと

清山会みはるの杜診療所
石原哲郎

私と丹野さんは、宮城の認知症をともに考える会（旧 宮城野認知症ケアを考える会）の世話人同士として出会った。以後私たちは毎月のように当事者を中心とした活動を行っている。6月には丹野さんが「ゆるたんツアー」と称して、私の留学先のスコットランドに当事者2人とパートナーを文字どおり率いて滞り、スコットランド・アルツハイマー病協会年次集会へ参加したり、スコットランド認知症ワーキンググループを立ちあげたジェームズ・マキロップさんと当事者同士の国際交流を楽しんだりした。丹野さんは、私にとって「認知症＝患者さん」という間違った概念を取り除いてくれた認知症のエキスパート（注）であり、今や私にとってかけがえない友人の一人である。

この本は認知症の闘病記ではない。認知症

とともに笑顔で生きることができるといことを自ら証明し続け、新たに診断を受けた人に希望を伝える男の物語である。この本を読んでいると、読者の中にある認知症というステレオタイプががらりと音を立てて崩れるだろう。そして認知症になっても大丈夫だと思えるようになってくるのだ。そう、私の認知症観が丹野さんとの出会いで変わったように。

丹野さんは、ネットトヨタ仙台のトップ営業マンとして活躍していた39歳のときに、自らの記憶力の低下に気づき、いくつもの病院で精密検査を行った結果、アルツハイマー病と診断された。丹野さんは、認知症と診断されて、不安で毎日涙を流していた時期があった。その診断された時の不安でたまらない状態は、病気をオープンにし、同じ認知症当事者に会ったことで軽減されたという。

病気をオープンにしたら、丹野さんには、医療、介護などの専門職や認知症の人と家族の会宮城支部の人などたくさんの仲間ができた。その仲間の一人、いずみの杜診療所の山崎英樹医師に「丹野君は、どうして笑顔でいられるようになったの？」と聞かれた。そのとき、同じ認知症当事者との出会いがあった



ADI京都にて宮城の認知症をともに考える会の仲間たちと
（右から2番目が丹野さん、中央が筆者）

ことを語ったところ、山崎医師から「それは大切なことだから、他の人にもそれを伝えようよ」と言われたという。この経験をもとに「当事者による当事者のための相談窓口、おれんじドア」がスタートした。ここでは認知症の診断を受けて不安な人たちが、先に認知症と診断された丹野さんら当事者からアドバイスを受けられる。そして楽しい「人生の再構築」をするための第一歩を踏み出すことができるのだ。現在、丹野さんの活動は宮城から日本、そして世界へと続いている。



丹野智文 笑顔で生きる 認知症とともに

著者：丹野智文
発行：文藝春秋
仕様：四六版 320頁
定価：1,450円＋税

また本書のなかで、彼は仕事についてトッ
プ営業マンとしてのノウハウも余すところな
く記述している。そこには、認知症になっ
て営業の仕事をあきらめざるを得なかったとき
の葛藤や、内勤になってからも仕事が継続し
てできるようなさまざまな工夫の様子が描か
れている。今では、工夫の一つである丹野さ
んの業務ノートは、同僚の備忘録としても重
宝されているという。

丹野さんは、講演を聴きにきてくれた人た
ちにこう言う。「私から勇気をもらった」「希
望だ」と言われますが、私の話を聞いて変わ
ろうとしている人たちのいることが、私にとっ
ても希望なのです」と。我々はいつでも丹野
さんに勇気づけられる側である。

この本を読んで私は、丹野さんとの出会い
に感謝するとともに、一緒に人生を楽しんで

いこうとあらためて心に誓った。認知症にか
かわる専門職、認知症の人を家族にもつ人は
もとより、認知症の当事者にぜひ読んでいた
だきたい注目の書。

(注) 認知症当事者による国際NGO団体である国際認
知症同盟 (Dementia Alliance International CEO ケイト・
スワファー) は、認知症当事者は認知症のエクスパート
(Dementia Expert) と主張し、多くの当事者から支持され
ている。

各国当事者や関係者からの祝辞が見られます。

<https://www.youtube.com/watch?v=IkakZCZORMI>

石原 哲郎 (いしはら・てつろう)

医療法人社団 清山会 みはるの
杜診療所 院長
エジンバラ大学 認知症の経験研究
エジンバラセンター客員研究員 (平
成29年)



平成13年山口大学医学部卒、名古屋大学大学院(神経内科
学)修了(医学博士)。
市立四日市病院脳神経内科医長、東北大学医学系研究科高
次機能障害学助教を経て現職。認知症専門医・指導医、神
経内科専門医・指導医。認知症ケアマッピング上級ユーザー、
宮城の認知症をともに考える会世話人、「おれんどア」実
行委員、日本認知症ワーキンググループパートナー。
専門は認知症の診断後支援。診療所での診断・治療のほか、
医療介護・福祉職・市民に対して認知症の診断・診断後支援、
パーソン・センタード・ケアおよび認知症の人の権利など
についての講演を行っている。

ジュンク堂池袋で当事者の声フェアが開かれる